

日本フラワービジネス大賞2015の概要と受賞者決定

一般財団法人日本花普及センター、日本花き取引コード普及促進協議会及びジャパンフラワーセレクション実行協議会は、花き業界関係者の幅広い参加協力を得て、平成18年から、①花きの新品種の開発・導入及び活用・普及について多大な貢献や先駆的な役割を担った者、②花きの流通・販売面で新技術の開発・導入や新たな需要開発に多大な貢献や先駆的な役割を担った者、③我が国花き産業の新たな課題について意欲的に取り組んでいる者（民間企業、試験研究機関、各種団体あるいは個人等）を選考・表彰してしています。

今年、日本花き取引コード管理委員会での事前検討に基づき、11月20日（金）には、日本フラワービジネス大賞選考委員会（磯村信夫委員長ほか）を開催して最終選考を行い、日本フラワービジネス大賞2015の受賞者を別紙のとおり決定しました。

また、授賞式と受賞者による特別講演については、以下のとおり、12月7日（月）に、ジャパンフラワーセクションの日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2015の授賞式等と併せて実施します。

（参考1） 日本フラワービジネス大賞選考委員会委員名簿（順不同）

（氏名）	（所属名・役職名等）
委員長 磯村信夫	一般社団法人日本花き卸売市場協会 会長 （株式会社大田花き 代表執行役社長）
副委員長 安藤敏夫	千葉大学 名誉教授
委員 土井元章	京都大学大学院 教授
委員 飯塚 勲	一般団法人日本花普及センター 顧問 （元 株式会社サカタのタネ 常務取締役 国内営業本部長）
委員 長岡 求	株式会社フラワーオークションジャパン 取締役
委員 秋田洋子	一般社団法人JFTD 理事（株式会社はなや 代表取締役）
委員 金澤美浩	全国新品種育成者の会 会長（有限会社矢祭園芸 代表取締役）

（参考2） 日本フラワービジネス大賞2015等の授賞式及び特別講演会の開催日程

日時： 平成27年12月7日（月）13:00～ 17:00

会場： 学士会館 2階210号（東京都千代田区神田錦町3丁目28番）

参加者： 花き業界関係者 約100名

特別ゲスト： 農林水産大臣夫人 森山陽子 様

（受賞者からの花束等の贈呈と記念写真撮影）

（問い合わせ先）

一般財団法人日本花普及センター 専務理事兼事務局長 西岸芳雄

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階

TEL： 03-3664-8739 FAX： 03-3664-8743

E-mail： jfpc@jfpc.or.jp http：//www.jfpc.or.jp

日本フラワービジネス大賞2015の受賞者一覧

年次	部門	受賞者	受賞内容
2015 (10回)	育種・生産部門	<p>国営越後丘陵公園「国際香りのばら新品種コンクール」運営委員会</p> <p>(運営委員長 石川直樹) (平成17年11月設立) (新潟県)</p>	<p>国営越後丘陵公園では、平成15年にばら園を開設し、ばらの香りを6種類に分類して植え込み、それぞれのブロック毎に違った系統のばらの香りを楽しめるばら園を整備</p> <p>最近、香りに対する関心も高まっている中、香りのばら園に更なる磨きをかけるべく、平成17年から「国際香りのばら新品種コンクール」を開催</p> <p>「香りの復権」をテーマとしたばらの新たな育種の先駆的な役割を果たす</p>
	流通・販売部門	<p>長崎県花き振興協議会</p> <p>(会長 矢竹友喜) (平成10年7月設立) (長崎県)</p>	<p>長崎県及び長崎県花き振興協議会では、平成18年に「ながさき花き100億」達成計画を策定し、長崎県花き振興協議会を主体に生産者・流通・販売関係者の連携活動を強化しつつ、企業的花き農家の育成、新産地育成、長崎ブランド確立による商品価値の増加等の取り組みを展開</p> <p>特に、長崎オリジナル品種のブランド化と地域への定着、生販連携強化等による本県花き産業の活性化を図ることを目的に、長崎オリジナル花き生産者グループ(7団体)、県内小売店、長崎花き園芸農業協同組合、及び長崎県で「長崎県産花きマーケティング連携会議」を設置し、「長崎オリジナル花き取扱店」の構築に向けた体制を整備</p> <p>近年、全国的に都道府県毎の花き生産額が減少傾向にある中で、長崎県は増加傾向</p>
	チャレンジ部門	<p>花の国日本協議会静岡連合</p> <p>(会長 坂本吉弘) (平成22年フラワーバレンタイン静岡として設立後、平成27年名称変更) (静岡県)</p>	<p>静岡県は有数の農業県であり、有数の鋳工業生産を誇る県ですが、今まで農業と工業のコラボはあまり行われていなかった</p> <p>このため、今まで花を使っていなかった業界や各種イベントに積極的な使用を呼びかけ、花の効能や集客効果を実践で証明し、異業種との連携による新しいアイデアの導入、花の使用方法・シーンの拡大による、生産振興と需要拡大を目指し、オール静岡県の花き産業がチームを組んで、異業種コラボを中心に新しい花き需要の創造のための多様な活動を積極的に展開。</p> <p>花き業界における花きの需要拡大対策の先駆的なモデル事例</p>

これまでの日本フラワービジネス大賞の受賞者一覧

年次	部門	受賞者
2014 (9回)	育種・生産部門	富山県花卉球根農業協同組合 (代表理事組合長 清都和文) (富山県)
	流通・販売部門	株式会社なにわ花いちば (代表取締役 大西 進) (大阪府)
	チャレンジ部門	「みやぎき花で彩る未来」推進協議会 (会長 松本拓真) (宮城県)
	東日本大震災復興特別賞	特定非営利活動法人 Green Fields (理事長 吉川三枝子) (岩手県)
2013 (8回)	育種・生産部門	株式会社サカタのタネ (代表取締役社長 坂田 宏) (神奈川県)
	流通・販売部門	株式会社ユニバーサル園芸社 (代表取締役社長 森坂拓実) (大阪府)
	チャレンジ部門	フラワートライアルジャパン実行委員会 (実行委員長 景山英治) (長野県・山梨県)
	東日本大震災復興特別賞	花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ委員会 (委員長 鎌田秀夫) (宮城県)
2012 (7回)	育種・生産部門	株式会社河野メリクロン (代表取締役社長 河野通郎) (徳島県)
	流通・販売部門	株式会社ハルディン (代表取締役 篠原 茂) (千葉県)
		株式会社ユー花園 (代表取締役会長 山田祐也、代表取締役社長 山田大平) (東京都)
チャレンジ部門	フラワーバレンタイン推進委員会 (会長 井上英明) (東京都)	

2011 (6回)	育種・生産部門	株式会社クロカワストック (代表取締役 黒川 幹) (千葉県)
	流通・販売部門	岐阜花き流通センター農業協同組合 (代表理事組合長 加藤孝義) (岐阜県)
	チャレンジ部門	日本クリスマスローズ協会 (会長 畑中孝晴) (東京都)
2010 (5回)	育種・生産部門	有限会社角田ナーセリー (愛知県)
	育種・生産部門	J A とぴあ浜松 浜松 P C ガーベラ (静岡県)
	チャレンジ部門	ちば花と緑の会 (千葉県)
2009 (4回)	育種・生産部門	草野修一氏 (有限会社綾園芸 代表) (宮崎県)
	流通・販売部門	株式会社ジョイフル本田 (茨城県)
2008 (3回)	育種・生産部門	鷺澤幸治 (秋田国際ダリア園 園長) (秋田県)
	流通・販売部門	群馬県あじさい研究会 (群馬県)
2007 (2回)	育種・生産部門	タキイ種苗株式会社 (京都府)
	流通・販売部門	株式会社パーク・コーポレーション (代表取締役 井上英明) (東京都)
2006 (1回)	育種・生産部門	八幡平市花き開発センター (岩手県)